(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日

2022年3月3日

派遣決定番号 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	音更町			代表者名	小野信次
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0155-42-2111	
担当者役職	係長	担当者氏名	山田和弘	連絡先E-mail	
住所	080-0163 北海道音更町元町2番地				

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明	
評価	よい	
由(どのようなところがよかったか等詳	があることなど、DX推進が叫ばれるようになって た。	ではなく、情報を握ってサービスを生み出す企業であるという世界的な背景いる時代背景をきちんと説いたうえで、わかりやすく話を展開してくれれてしまうと、最も重要な意義付けのところが歪んでしまうと危惧してい
アドバイザー への要望事項	手探りしながら進めていかなくてはならないと感じていま	すので、外部の人の視点はとてもありがたいです。今後とも、相談させてください。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月26日	14時00分	17時00分	10	170
3-2.	会場名	音更町役場		最寄駅	JR帯広駅
派遣場所	所在地	北海道河東郡音更町元町2番地		最寄駅からの交通手段	路線バス
	派遣形態	講演(実地)			

4.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可 ○掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果			
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数	
	職員	85 人	
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーからは、一般の職員が入り込みやすい容が進んでいくとどうしても馴染みの薄い用語が 場合が進んでいくとどうしても馴染みの薄い用語が している。	Nよう平易な切り口から展開していただいたが、内 預出してしまうのが、このテーマの課題に感じる。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DXという言葉について、「自分は情報担当ではないので知らない」ということのないようにする。 社会の大きな変化をとらえたうえで、他人事と思わずに変革の意識を持つようにする。		
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	企業価値のランキング上位は、今やモノづくり企業ではなく、情報を握ってサービスを生み出す企業という世界的な背景。 DX推進が叫ばれるようになっている時代背景、政府の方針。 自治体DXはICTばかりではないということ。 推進体制のあり方について。本町のDX推進方針の内容 など		
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	言葉が一人歩きしている感のある「DX」というものについての理解と、自治体DX推進手順書ステップの「DXの認識共有・機運醸成」が一定程度進んだ。ステップ1の本町のDX推進方針案を固めることができた。ステップ2の推進体制についての理解が進んだ。		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		す、急きょ、ビデオカメラで撮影して、少人数で分 係長未満の職位のものにも受けさせたらいいのでは	

アファーの内留での行品来	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行うなかった場合はその理由をご記入下さい。		
	PDFファイルを添付します。		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある	
事業の最終的な目指す姿			

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子



